

継続事業評価シート

評価確定日 令和元年 6月20日

平成30年度(2年目)

| | | | | | | | | | | | |
|-------|---------|------|------|------|------|-------|---|-----|---------------------|--|--|
| 事業コード | 17 | 事業名 | 意見集約 | | | 戦略コード | 4 | 戦略名 | 機動的・効率的な商工会 | | |
| 商工会名 | 湖東3町商工会 | 担当者名 | 米谷 淳 | 総轄者名 | 菊地 功 | 施策コード | 6 | 施策名 | 事務所統廃合を含む組織体制のあり方検討 | | |

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

高齢化率の上昇、出生率の低下、商工業者数の減少、購買流出などによるマーケットの縮小といった環境変化への対応を図るため、会員や地域小規模事業者のニーズに沿った事業者第一の個社支援の実現に向け、分散している職員の知識やノウハウを集結し、より良い組織体制の構築を目指す。

2. 事業のねらい

会員減少による収入減などに加え、3事務所の老朽化により、財政的にも厳しい状況に置かれることが予想されることや、高度化する会員のニーズへの対応として分散する職員の知識やノウハウを一ヶ所に集中しワンストップ支援、チーム支援といった体制の整備による成果の創出と、全体最適化を図り効率的な組織運営を実現する。

3. これまでの評価結果

| | | | | | | | |
|-----|-----|---|-----|--|-----|--|-----|
| 過年度 | H29 | B | H30 | | H31 | | H32 |
|-----|-----|---|-----|--|-----|--|-----|

組織体制のあり方検討会及び各種調査を実施しながら、H30年度においても、意見集約の為の検討会を開催予定。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

次年度は役員改選でもあり、各委員会の見直しも図られることから、各地域から必要性を強く認識する若い世代も取り込んだ委員構成として、意見集約を加速させたい。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

| 事業内容 | 実績 | 達成度 |
|--|---|-----|
| 事務所統廃合を含む組織体制のあり方検討について、総務委員会へ付託事項とし3回の会議を開催し統廃合先を含めた議論を行った。 | 3回の総務委員会を開催したが、統廃合の必要性は認識しているが、三役の意思統一の問題もあり、進まなかった為、統合先については事務局の視点から提案したが、議論が煮詰まらず結論は次年度へ持ち越しとなった。 | b |

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

| 項目 | 意見集約・ブラッシュアップ | | | | | 項目 | | | | | | 項目 | | | | | | | |
|-----|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| | 年度 | H29 | H30 | H31 | H32 | | H33 | 年度 | H29 | H30 | H31 | | H32 | H33 | 年度 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| 目標 | - | - | | | | 目標 | | | | | | 目標 | | | | | | | |
| 実績 | - | - | | | | 実績 | | | | | | 実績 | | | | | | | |
| 達成率 | - | - | | | | 達成率 | | | | | | 達成率 | | | | | | | |
| 達成度 | - | - | | | | 達成度 | | | | | | 達成度 | | | | | | | |

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

| | |
|--|---|
| 【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) | b |
|--|---|

〈評価の理由〉

会員減少や、3事務所の老朽化、高度化する会員のニーズへの対応として分散する職員の知識やノウハウを一ヶ所に集中しワンストップ支援、チーム支援といった体制の整備による成果の創出と、全体最適化を図る効率的な組織運営を実現する為に意見集約は必要である。

| | |
|--|---|
| 【有効性の観点】 事業目標の達成状況 事業内容・評価指標の実績の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(いずれかがc判定の場合) | b |
|--|---|

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

平成31年度の意見集約に向け、効率的な組織運営と、会員が不利益を被らない為のサービスの維持を図る為、3回の会議を開催し検討してきた。評価指標は示されていないが、事業の目標を達成する為に有効と判断します。

| | |
|--|---|
| 【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) | b |
|--|---|

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

事業15の組織体制のあり方検討委員会(仮称)の設置のシート記載の通り、当該事業はコスト削減に繋がることであり、それに向け取り組んでいる。

| | |
|---|---|
| 2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 | B |
|---|---|

組織体制のあり方検討会及び各種調査を経て、H31年度において月1回ペースで検討会を開催し、意見集約を図り、湖東3町商工会役員の総意として計画策定に繋げたい。

3. 課題

2年かけて、組織体制のあり方や各種調査を実施してきたが、3役の考えが示されていないことから、次のステップへの検討に繋がっていない。

4. 今後の対応方針(改善点)

意見集約を図る為にも、3役の意思決定とそれに向けた、検討会を重ねる必要がある。